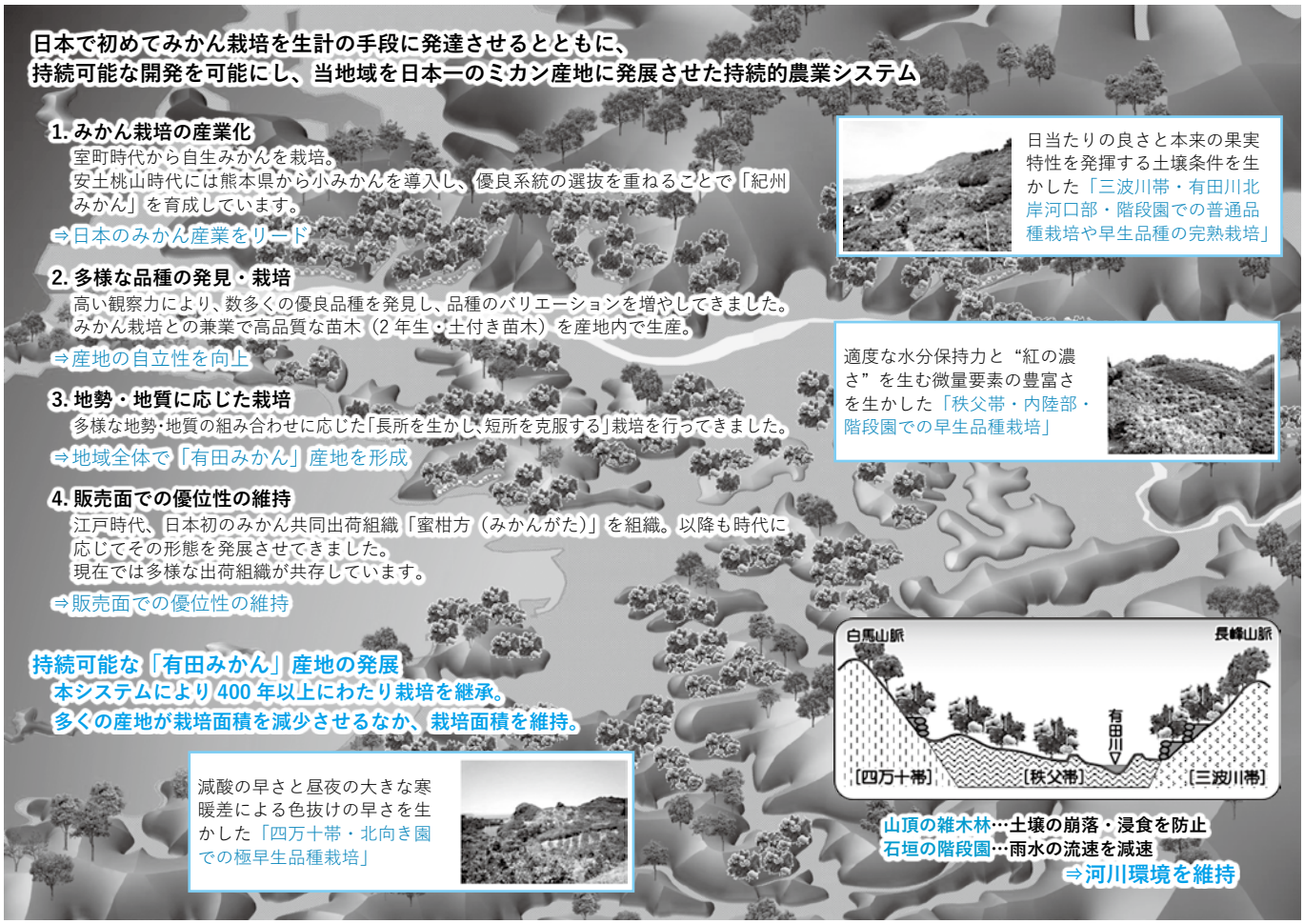
「有田みかんシステム」

●申請団体／有田みかん地域農業遺産推進協議会（令和2年（2020年）6月8日設立）

●申請地域／有田市・湯浅町・広川町・有田川町のみかん栽培地域

「有田みかんシステム」は次を核とした、持続的農業システムです。

- みかん生産者による優良品種の探索と農家による苗木生産の組み合わせによる「自律性の高い産地形成」
- 多様な地勢・地質の組み合わせに応じた「栽培技術の開発」
- 日本初のみかん共同出荷組織「蜜柑方」を起源とする「多様な出荷組織の共存」

有田地域の温州みかん生産量は日本一を誇ります。400年以上にわたりみかん栽培を発展させ続け、日本のみかん産業をけん引するとともに、新たな計画による新規就農者の確保、6次産業化による収益性の向上や女性の参画などを進めてきた本システムは、「持続可能な農業の促進」「陸域生態系の持続可能な利用の促進」「ジェンダー平等」の達成に確実に貢献するものであるといえます。